

気になったら

困ったら

悩んだら

相談してみませんか

きっと心が軽くなる



K*O K*O ぷれす
PRESS vol.38

KOGANEI
子育て相談特集
小中学生編

はじめに

子どもが学校生活を送るようになって、どんなことが心配ですか？

年齢に応じた新たな心配も出てきますよね。集団の中でうまくやれていないようだとか、勉強についていけないみたいだとか。ついつい周りの子と比べたり自分や夫の子ども時代と比べて不安になったり、一生懸命育ててきたのに理想とは違っていたり。突然、「我が家でこんなことが起こるとは思っていなかった!」というようなことに出くわすこともあります。

ちょっと立ち止まって考えてみましょうか。

我が子といえども子どもは別の人格で、親とは違う感性や発想を持っていて、思いもつかない行動をすることがあります。(…だからこそ面白くもあります。)そして、おとなも子どもも心身共にいつも元気というわけではありません。また、環境が変われば影響も受けるし、人との関わりの中で生きているわけだから予想もしないことが起こります。

そう、いろいろなことが起こるんです!

子ども自身にも育つ力があります。子どもの権利条約では18歳までを子どもと定義していて、いろいろな経験をしながら時間をかけて成長していきます。

とはいえ、子どもも悩むことはありますし、そばで見守るおとなも不安になったり、どうしていいかわからなくなったりします。

困っているのはあなただけではありません。

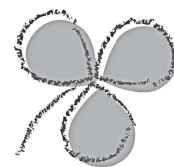
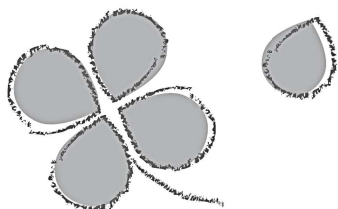
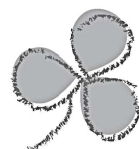
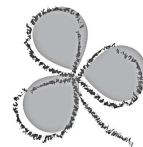
子どもが小学校に入学すると、困ったときは学校の先生に相談することが多いと思います。ただ、学校だと話しにくいとか、先生に話してみただけで他の考えも聞いてみたいとか思うことはありませんか？

小金井市内にもいろいろな相談窓口があります。より専門的な話を聞ける場所もあります。時には落ち込んだり悩んだりしながら子育てをしてきた私たち制作委員会メンバーが、相談員の方に会って取材してきました。また、今子育てしている方たちや先輩たちのお話も聞かせてもらいました。特集してご紹介します。

「相談する」って少し勇気がいるかもしれませんが、心配しない人や悩まない人なんていません。すぐに解決できなくても、だれかに話を聴いてもらったり、相談したりすると、心が軽くなると思います。

困ったときは、いろいろな人の力を借りて歩んでいきましょう!

「子育て相談特集・小中学生編」制作委員会





一人で抱えなくてもいいですよ

東京学芸大学 准教授 馬場幸子

生活をしていると、皆、困ったり悩んだりすることがあります。子どものこと、夫・妻のこと、実親・義親のこと、仕事のこと、家計のこと、自分自身のこと、過去にあったつらい出来事のこと、将来への不安……。それは、「ちょっともやもやする」程度のことかもしれないし、辛くて「もう嫌だー!」と叫びたくなることかもしれません。

そんな生活上のあれこれを、皆さんはどう対処しておられますか? 「誰に相談するわけでもなく、普通に生活はしているけれど、何かすっきりしない」ということはありませんか? あるいは、とても苦しいのだけれど、「他の人に話したって分かってもらえないかもしれない」「自分が我慢しさえすればいいんだ」と思って、ぐっと自分の中に押し込めてはみるものの、ぐるぐると色々な気持ちが巡り続けている、そんなことはありませんか?

いずれの場合にも、地域にある相談窓口が役に立つかもしれません。「どんなところかちょっと覗きに行ってみよう。」ぐらいの軽い気持ちで訪ねてみてはいかがでしょうか。あなたが知らなかっただけで、似たような悩みを抱えている人が他にもたくさんいて、解決方法もあるのだということを知ることができるかもしれません。これまで悩みを自分の中に閉じ込めてきたのだとしたら、人に話すということはとても勇気のいることかもしれませんが、きっと、「よく来てくださいましたね。」「よく相談してくださいました。」と、あなたの勇気をたたえ、これからどうしたらよいか、一緒に考えてくれるはずです。

あなたが最初に相談に行った場所では、あなたに必要な情報や支援が十分に得られないことがあるかもしれません。でも、それであきらめてしまわないでください。地域にはいろいろな相談窓口がありますから、別なところを紹介してもらいましょう。もっと別なところのほうがあなたにはあっているのかもしれないですし、専門家であっても、すべてに精通しているわけではありません。ともかくまずはどこかに相談してみましょ。そして、あなたとあなたの家族の周りに、支援してくれる人の輪を広げていきましょう。

福祉や医療や教育、保健・・・様々な領域の専門家は、地域の中で連携をして皆さんの生活を支えています。あなたが悩みを一人で抱えていたら身動きが取れなくなってしまうのと同じように、専門職の人たちも、自分のところで抱え込んでしまつては、良い支援ができません。ですから、情報を共有し、役割を分担しながら、一緒に考えていくのです。もちろん、あなたやあなたの家族の不利益になるような形で情報を使ったりはしませんから、安心して相談してください。

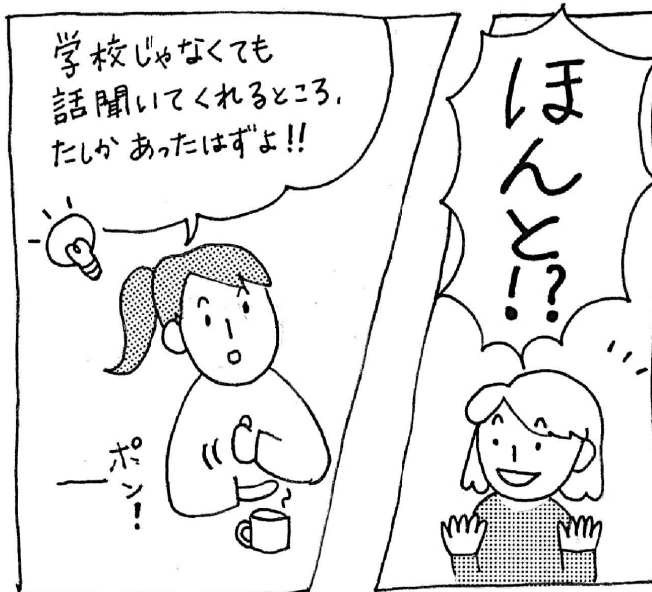
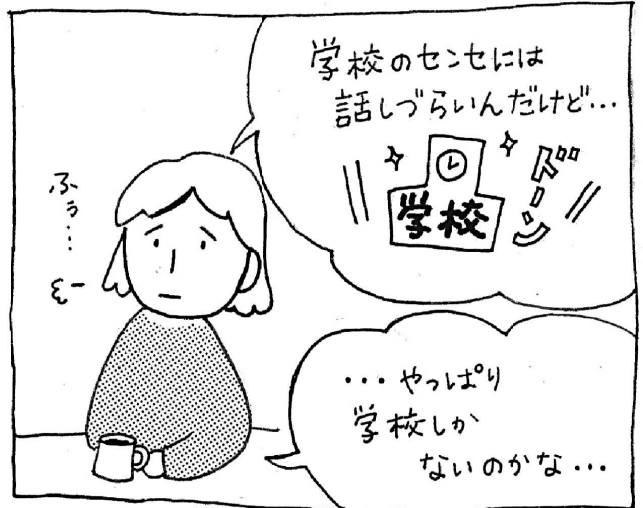
あなたがこれまで一人で頑張ってきたのだとしたら、私はこう言いたいと思います。そして、地域の専門職の人達もきっと同じ思いだと思います。「これまで一人で大変でしたね。でも、あなたのその荷物、一人で抱えなくてもいいんですよ。みんなで分担させてください。」

ばんばさちこ

研究領域は、児童福祉とスクールソーシャルワーク (SSW)。この数年はSSWの実践スタンダードの開発と、児童養護施設の自立支援に関する研究をしている。今年度は、小金井市、文京区、江東区のSSW活用事業のスーパーバイザーをしている。

はじめに	1
一人で抱えなくてもいいですよ	2
目次	4
相談先は学校だけじゃない!?	5
みんなの悩み・みんなのもやもや	6
私のまわりに誰がいる?～小金井市 支援の輪～	8
小金井市の相談窓口	
教育相談所	10
子ども家庭支援センター 子育て相談	12
児童発達支援センター きらり	14
東児童館 思春期相談	16
女性総合相談	18
民生委員 児童委員・主任児童委員	20
地域福祉コーディネーター	21
学校で活躍する専門職(S C、SSW、特別支援コーディネーター)	22
相談してみました!(体験談)	23
K O K O ぷらねっとが考える『相談の極意!』	26
凸ちゃん凹ちゃん	27
ウチはこんな子	28
私は私・僕は僕	29
わたしのメモ	33
編集後記	34

相談先は **学校** だけじゃない!?



小金井市内には どんな相談先があるのでしょうか??

みんなの悩み・みんなのもやもや

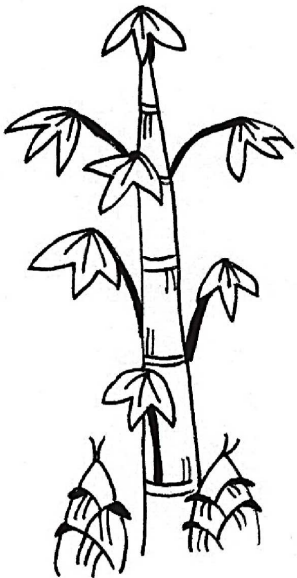
どんな悩みがあるか、どんなことが心配か、子育て中の方々に聞いてみました。

子ども同士の間関係

- ・お友達にいやなことをされても我慢してしまう。
- ・「いれて」が言えなくて集団の中に入れない。
- ・以前仲間はずれやいじめに近い状態になった。その後、表面的には普通になっているが、また同じような状況になっていないか不安。
- ・お友だちの事を悪く言う、否定することが多く、うまくやれてないのかなと思う。
- ・友人を自分からつくることができない。
- ・友だちが少ししかいないようで心配。
- ・イライラして、友達とケンカばかり。もめ事が多く困っている。
- ・身体に不自由があるので、その点をからかわれたりして家で泣いたりすることがある。今後、いじめがエスカレートしないか心配。
- ・いじめられていることを、同じクラスの子から聞いた。本人は何食わぬ顔をしているので、どうやって切り出したらいいか悩む。
- ・「空気を読む」つき合いに気疲れしている様子がある。
- ・小6の娘が、友だち関係で悩んでいるみたい。独占欲の強い女子の友だちに誘われると、他の友だちと一緒に遊べないらしい。
- ・子ども同士のトラブルが起きたとき、子どもだけでは解決できないこともあると思う。事実を知った時、おとながどこまで、どんな風に関われば良いのか考えてしまう。

学校で

- ・学校に行きたがらなくて担任に相談したけど変わらない。
- ・好き嫌いが多くて給食が苦手。それで学校に行きたくないと言う。
- ・学校で出来ないことがあって大泣きしてしまったようだ。何と声をかけていいのかわからなかった。
- ・学習に一部遅れがあり、学校への緊張が強く、周りと一緒に授業を受けるのが難しい。
- ・学校の授業に興味がない。
- ・小学生低学年女子だが、複数の友達でやっていた交換日記でトラブルが起きていることに親が気がつかなかった。どこまで介入したら良いのだろうか…。
- ・生理になるのが早く、ナプキンを持っていくのをいやがる。
- ・担任の先生とウマが合わず、先生に注意され、授業を中断してしまうことも度々ある。
- ・周りを気にする子なので、横並びの教育でそれがさらに助長されるのではと懸念している。
- ・登校できないことへの周囲の子ども達からの目が厳しい。
- ・集団行動が苦手。
- ・部活の朝練がきつく、部活を辞めたいのだが言い出しにくいよう。
- ・いじめなのか、突然子どもが殴られて帰ってきた。日々、子どもたちにストレスがあるのではと思う。



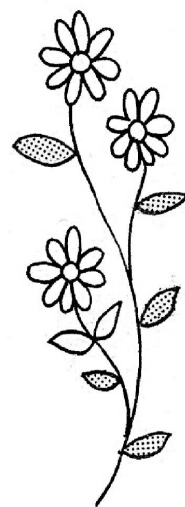


家庭で

- 学校でいやなことを言われると言い返せず、自宅で当たり散らす。
- 子どもがちっとも言うことをきかなくて困る。
- 朝、起きられなくて毎日のように遅刻している。
- 子どもたちが将来やりたいと思っていることに対して、金銭面で難しく実現させてあげられない。
- お小遣い以上に最近子どもの持ち物が増えている。
- 娘がすごく年上の人とつきあっていて心配だが、どういうふうに話したらいいのかわからない。
- 帰りが遅いので理由を聞くとほっておいて、とか、ぶすっとして部屋にこもってしまう。
- とにかく、普段の様子やコミュニケーションが取れない。成績のこと、友人関係の事を聞くと、怒ってしまうから、何も質問出来ない。
- 夜中までゲームにはまっていて、昼夜逆転の生活が続いている。ふらふらになりながらも一応登校しているので、口が出せない。
- 時間かまわずラインの連絡が届くのでずっと返信している。時間を決めたいのだが、友達関係が危うくなると言ってきかない。
- 子どもにチック症状が現れている。思い当たる原因は夫婦仲が悪いこと。どこに相談に行くべきか悩む。
- うちの息子がお姉ちゃんの服ばかり着たがる、何か理由があるのかな。
- ベッドの下に汚れた下着が突っ込んであるのをみつけてしまった。父親はそのうちわかるからほっておけばいいと言うが、どんなふうに切り出すべきか。
- 携帯電話やゲーム機を欲しがる。
- 学年があがるにつれ子どもに任せる部分も増えて、知らないうちに子どもだけで何回も有料ゲームで遊び、トラブルになってしまった。
- 携帯電話やタブレットに夢中になるのは仕方ないが、時間を管理する力をどうやって身につけさせればいいのかのだろうか？

親の人間関係など

- 子どもが学校でしかられてばかりで保護者会に行くのは気が重い。
- 若干発達障害があり、担任が変わると理解を深めるのに苦労する。
- 保護者同士の付き合いがしんどい。
- PTAなどの役員、子どもの為に…と思ってやったはずなのに、行事が忙しくなり子どもの事が後回しになってる。コレって子どもの為になっているの？
- 保護者会で社交辞令みたいな話や我が子自慢という感じになると、とても疲れる。
- 担任に相談したいことがあるが忙しそうだし、話してもどう評価されるか心配。
- 日々の生活に追われ、子どもの気持ちに向き合っていないのではないかと？
- 仕事をしている母親も増えて、子どもを育てる社会環境の変化を感じる。
- 自分(親)の育った時代との違いもあるし、子どもも年齢と共に変化していくのに、親側がそれに気づかないとか、やり方がわからないことがある。

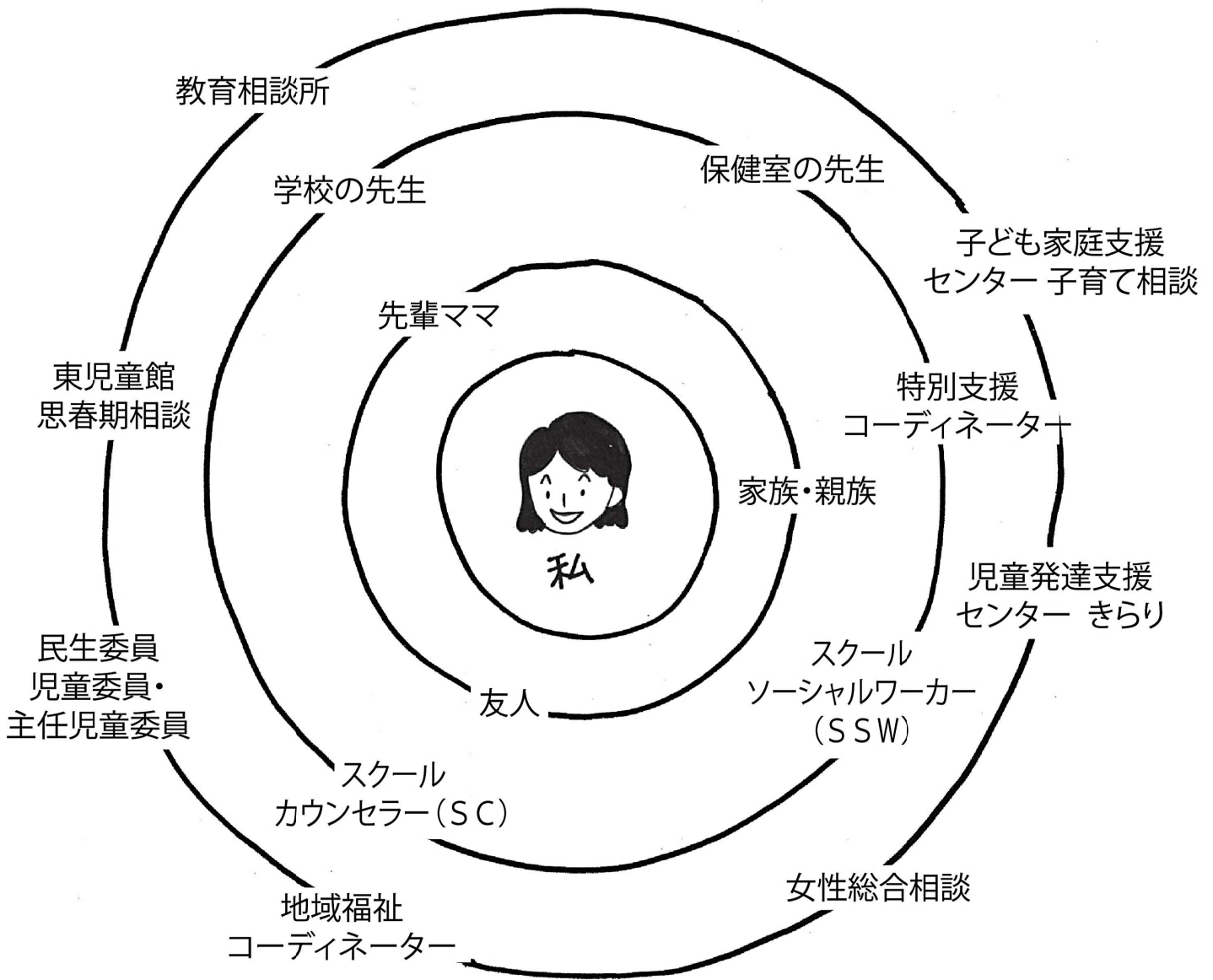


他にもありますよね。

あなたはどうか…



私のまわりに誰がいる？ ～小金井市 支援の輪～

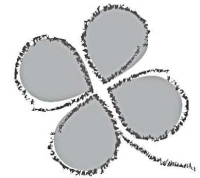




小金井市の相談窓口



「相談窓口」と聞くと、ちょっと堅苦しいイメージを持ちますが、
 実際に行ってみると印象は変わります。
 “どんなことでも相談してみてください。”
 “一緒に考えます。”とのこと。
 各相談窓口の特徴や私たち相談する側の知りたいこと、
 聞いてみました!



教育相談所 10

子ども家庭支援センター 子育て相談 12

児童発達支援センター きらり 14

東児童館 思春期相談 16

女性総合相談 18

民生委員 児童委員・主任児童委員 20

地域福祉コーディネーター 21

学校で活躍する専門職 22



- ・原則、どの相談先も予約が必要です。
- ・全ての相談機関には守秘義務があります。
- ・相談内容はあなたの了解なしに、他へ漏らすことはありません。
 安心して相談してください。

アイコンの説明



面談

: 面接相談



子ども

: 子どもだけで
相談できる

電話

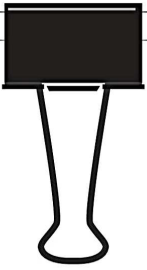


: 電話相談

メール



: メール相談



小金井市 教育相談所

教育委員会が管轄していて、幼児から 高校生までの子とその保護者のいろいろな心配や悩みについて相談に応じています。

【住所】	小金井市本町 6-5-3 シャトー小金井別館 3階
【連絡先】	☎ 042-384-2097 ✉ kyouikukyoku-soudan.koganei@jcom.home.ne.jp
【相談方法】	面接、電話、メール
【相談日】	月曜～土曜（祝祭日除く）9:00～16:30 面接相談は大体1時間くらい。電話相談は開所時間中はいつでも受付 メール相談の返信は、情報提供のみで数日かかる場合あり
【子どもの対象年齢】	幼児（3歳程度）から高校生（18歳程度）まで市内在住であれば公立・私立は問わない
【相談員の資格】	臨床心理士（5名）・学校管理職経験者（3名）が交代で対応
【継続相談】	可能。ただし、18歳程度まで。回数制限はなし。相談員の交代も可能
【子どもだけの相談】	最初は保護者のみ。次回以降に子どもだけが相談に来ることはできる（ただし、原則的には保護者が引率）子どもの電話相談もあり
【親以外の相談】	原則的には保護者だが、場合によっては祖父母等でも可能

相談の流れ



面談

電話で予約
042-384-2097

相談員と面接相談

必要であれば次の予約
(含：子どもの面接相談)

※直接行くこともできます

電話



：開所時間中はいつでも受け付け（※子どもも電話相談できます）

メール



：いつでも受け付け（※情報提供のみ）

もくせい教室（適応指導教室）概要

小金井市立小・中学校の児童・生徒で、集団生活や学校生活になじめず、学校に行けないで悩んでいる子どもたちに、学習や様々な活動を通して人とのふれあいの場を提供するところです。もくせい教室は学校ではありません。少人数の温かい雰囲気の中で、いろいろな体験を通して自立心を養い、集団生活への適応力を高め、学校へ行けるよう支援をしていきます。詳しいことは小金井市のHPをご覧ください。

きいて
みました

Q どんな相談ができますか？

A お子さんの様々なご心配や悩みをお聞きします。発達に関する相談が多く、不登校や性格や行動などについての相談もあります。どんな内容でもいいので気軽に来てください。

例えば

友達と遊べない / 乱暴する / 気になる癖がある / お金や物を取る / 落ち着きがない / いじめる・いじめられる / 幼稚園や学校に行きたがらない / おねしょをする / 言葉がおそい / 勉強についていけない / 進路 等々

Q 相談はどれくらいありますか？

A 27年度の相談件数は、185件、延べ回数779回です。小学校低学年、小学校高学年、中学生の順で多くなっています。(小学校高学年と中学生は同数)

Q 教育委員会の管轄ということで、学校との関わりが気になりますか？

A 守秘義務があるので、基本的には外に出しません。

・いじめ

家庭が希望する場合は、学校と情報を共有することがあります。

・不登校

ケースバイケースです。要望があれば学校に連絡をとります。不登校の数はここ2、3年で割合は微増で中学校の割合の方が多いです。不登校の理由は都全体の傾向と同じで、学業や発達や友人関係など複合的に関わっています。

学校以外の学びの場所として、もくせい教室(適応指導教室)を紹介する場合があります。しかし、不登校だけれど相談所にも来ることなく、全くどこともつながっていないケースもあると思います。相談所としては登校は無理強いしないという姿勢です。

・学校や担任とうまくいかないとき

直接学校に何か言うことはできませんが、所長の判断で学校の様子を聞くことはあります。話を聞くのが主な役割です。

・発達について

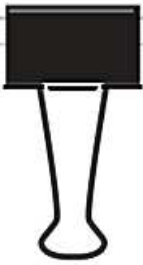
発達に関する相談は多いですが、保護者の希望があれば学校に連絡することもあります。

希望により検査(WISK, 田中ビネーなど)をすることもできます。

取材後記

予想以上に多くの相談を受けているようでした。武蔵小金井駅から比較的近い便利な場所にありながら、あまり目立ちません。相談するのは勇気がいりますが、あまり人目につきたくないときにはうってつけかと思います。学校現場に長くいた元校長先生には学校とのやりとりのコツが聞けそうです。

同じフロアにある「もくせい教室」を、ちょっとだけ覗かせてもらいましたが、普段は小中学生がいっしょに活動しているそうです。



小金井市

子ども家庭支援センター 子育て相談

関係機関と連携・協力し、地域の子育てをサポートする機関です。親子あそびひろば「ゆりかご」をご存知の方も多いかもかもしれませんが、18歳までの子どもとその家庭に関するあらゆる相談ができます。

【住所】	小金井市貫井北町 5-18-18 保健センター 1階 開館時間：9:00～17:00 休館日：日曜、祝祭日、年末年始
【連絡先】	☎(相談電話) 042-321-3146 / FAX 042-321-3190 ✉ s050599@koganei-shi.jp
【相談方法】	電話、FAX、面談
【相談日】	子育て相談 月曜～土曜 9:00～17:00 / こころの相談 月1～2回
【子どもの対象年齢】	18歳未満（あるいは高校3年まで）の子ども
【相談員の資格】	社会福祉士
【継続相談】	可能
【子どもだけの相談】	面談・電話ともに子どもだけの相談は可能 予約不要だが電話予約なお良い
【親以外の相談】	市民であれば可能



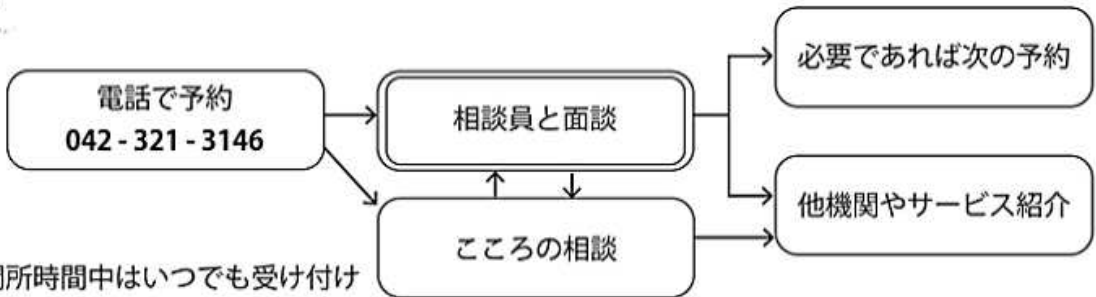
相談の流れ



電話



：開所時間中はいつでも受け付け



Message

子ども家庭支援センターは未就学児童を対象としたひろば事業（＝「ゆりかご」です！）と18歳未満までを対象とした総合相談窓口を持った、子どもとその家庭を応援、支える機関です。一緒に困りごと、迷いごと、不安ごと、心配ごとなどを考える職員がいます。お話を伺って、何に困っているかを聞いたのち、一緒にどのようなことができそうか考えていきます。もちろん、すぐに解決できないことも多いのですが、様々な関係機関の知恵を借りたり、つないだりしていきます。もちろん、子ども自身からの相談も受けています。子どもの安全・安心はその子の成長にとっても大切な要素です。親御さんの力、地域の力を借りながら、子どもたちの健やかな成長を支援していきたいと思っていますので、一人で抱えず、まず話に来てみてください。（子ども家庭支援センター長）

子どもショートステイ

保護者が、病気・看護・冠婚葬祭・出張・育児疲れ・育児不安などで、子どもを一時的に養育するのが困難になった時、市が指定する児童養護施設（朝陽学園三鷹市大沢 2-4-1）で短期間、子どもを預けられます。

対象：小金井市内在住で、原則2歳から小学校6年生まで / 期間：原則7日間以内 泊3000円

※受け入れ人数に制限があります。必ず事前に利用について問い合わせてください。

きいて
みました

Q どんな相談ができますか？

A 子育てや家庭のことならなんでもお受けします。「どこに聞いていいかわからないからとりあえず相談したい」でも大丈夫。最初の入口だと思ってください。ここで解決できないことは必要に応じて専門機関やサービスを紹介しています。

例えば

こどもにどう関わったらいい？ / お友達とうまくコミュニケーションができないみたい / 自分に余裕がなくて子どもにあたってしまう / 親同士のお付き合いがむずかしい / 発達について / 学校に行きたがらない / 子どもの生活が不規則 / 家庭内での問題行動 等々

Q 学校との連携はどうですか？

A 保護者の希望があれば学校との連携を取ります。お子さんが学校生活を送るのに困ることがあれば何かできることを一緒に考えます。不登校などは、教育相談所との連携ができます。

Q こころの相談というのはどういうものですか？

A 子育てや家庭のことで、気になっていることや心の整理をしたいときは臨床心理士による専門相談が受けられます。

相談員が紹介する場合がありますし、相談者が希望して予約することもできます。

注) 相談日が決まっているので、事前予約が必要になります。小さいお子さんがいる場合、相談中はスタッフが保育をしますので、安心してご利用ください。

Q 相談者が具合が悪くてどうしても家から出かけられない場合などは何か方法がありますか？

A 誰か付き添っていただけの方がいないかなど状況をお聞きして、場合によっては相談員が出向くこともできます。

Q お子さんからの相談もありますか？

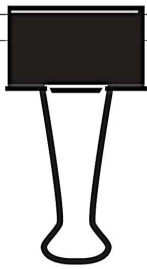
A 多くはありませんが、あります。親との関係だったりすると、すぐには解決できないですが、つながっていることで支援したいと思います。



取材後記

隣接した「ゆりかご」にひろばがあるので、赤ちゃんや子どもの声が聞こえていて懐かしい気持ちになるとともに、子どもは成長するものだなと改めて思いました。

乳幼児だけでなく、小学生以上の子に関する相談も、年間延べ 1500 件程あるとのことでした。相談内容によっては、相談員さんが同行して動いてくれる場合もあるようです。小金井市の子育て支援の中心的な役割を果たしているそうなので、どこかにつながることもできるかなと感じました。最初の入口だと思って話してみたらどうでしょう。



小金井市 児童発達支援センター きらり

18歳未満の子どもとその家族を対象に、発達に関する気づきから専門的な支援にいたるまでさまざまなニーズに答える支援を行っています。
また、各関係機関をつなぐ専門的支援も行っています。

【住所】	小金井市梶野町 1-2-3
【連絡先】	☎ 0422-60-1550 FAX 0422-60-1564
【相談方法】	相談担当職員が随時電話での相談・受付を行い、日程調整のうえ面談
【相談日】	月曜～金曜（祝日を除く）9:00～18:00 / 第2土曜 9:00～16:00
【子どもの対象年齢】	乳幼児から18歳未満まで 市内在住であれば公立・私立は問わない
【相談員の資格】	心理士・言語聴覚士・作業療法士・理学療法士や相談支援専門員が対応
【継続相談】	可能。原則同じ相談員が対応
【子どもだけの相談】	保護者と相談のうえ、お子さんだけで面談可能。子どもの電話相談もあり
【親以外の相談】	可能だが、個人情報にふれない一般的な回答のみ

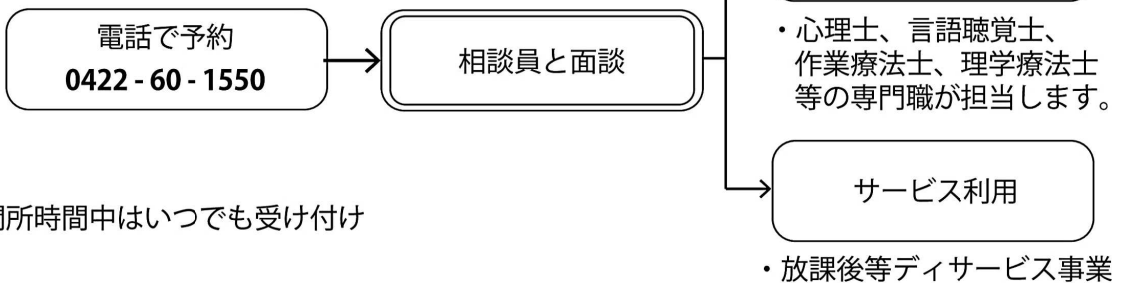
相談の流れ



電話



：開所時間中はいつでも受け付け



Message

小金井市児童発達支援センターきらりは、平成25年（2013年）10月に開設されました。この2年半できらりの相談に訪れた方は570名あまりで、0歳から小・中・高校生と幅広い年齢の相談があります。

「ちょっと気になる行動や偏りがある」「この子に合ったサービスを利用するには」など、相談内容も多様です。きらりでの相談だけでなく、各関係機関との連携、地域のサービスの紹介を行い、お子さんとご家族が安心して地域社会で暮らせるよう支援しています。きらりの相談を気軽にご利用いただき、今気になっていることを一緒に整理してみませんか。（センター長）

きいて
みました

Q どんな相談ができますか？

A 発達に関してなら、どんなことでも相談できます。
それぞれの状況に応じて、こちらで相談を続けたり、他機関の紹介を行い、連携していきます。学校でお子さんのことを理解されないという相談の場合、保護者とお子さんの発達を整理したり、伝え方を一緒に考えたりすることもあります。

例えば

お友達とうまく遊べない / 手が出てしまう / 言葉のやり取りが苦手 等々

Q 相談が多い年齢はありますか？

A 相談対象のお子さんの年齢は、2歳児が比較的多いのですが、小学1.2年生と6年生も多くなります。6年生は、中学入学に際しての心配や不安なことについての相談が多いです。

Q 連携あるいは紹介する他機関はありますか？

A 子ども家庭支援センターや学校との連携はもちろんあります。保護者の承諾・希望があれば、学校と連絡を取ることもできます。逆に伏せることもできます。学童には定期的に巡回をしてスタッフからの相談も受けています。病院や都の関係機関などについては、保護者への情報提供を含め、必要に応じた対応を行っています。

Q 放課後等デイサービス事業とは具体的にはどんなことをしますか？

A 小学校1年生から6年生までのお子さんを対象に、週1回グループによる支援を行います。具体的には、遊びや簡単なゲームを通してのソーシャルスキルのトレーニングや生活の幅を広げるための活動をしています。

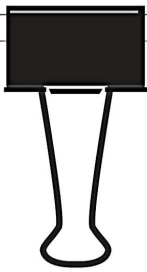
初回の相談を受けた後、専門職の継続相談を続ける、または放課後デイサービス事業等の利用をするかなど、どのような支援が適切か相談者に確認をしながら、計画を立てていきます。



取材後記

暖かみのある雰囲気、どんな些細なことでも安心して相談できる環境だと感じました。

発達の相談に関しては、主に乳幼児が対象と勘違いをしがちですが、18歳未満までが対象なので、学齢期以降に起きる様々なケースにも、手厚い支援をしてもらえるのはとても心強いです。気になることがあれば、是非相談して欲しいです。



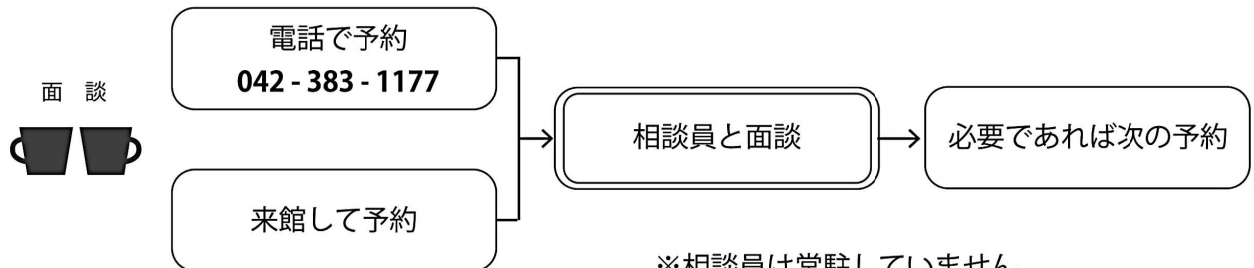
小金井市 東児童館 思春期相談

児童館は遊びに行くところというイメージが強いかもしれませんが、東児童館では、年齢を限定した相談場所として、思春期相談をやっています。

【住所】	小金井市東町 4-25-7
【連絡先】	☎ 042-383-1177 電話または直接児童館にて予約受付 (児童館開館中であれば随時)
【相談方法】	面談のみ
【相談日】	毎月1回 10:00～13:00 / 面談時間1時間
【子どもの対象年齢】	思春期の子どもとその保護者(市内全域)
【相談員の資格】	臨床心理士
【継続相談】	可能
【子どもだけの相談】	可能
【親以外の相談】	市民であれば可能



相談の流れ



※相談員は常駐していません
※子どもが直接予約もできます



Message

思春期は、小学校高学年くらいから高校生世代になるくらいまでを指しますが、特に年齢に拘らず、10代のお子さん、またその親

御さんのご相談をお受けしています。この時期は、心身ともに目まぐるしく変化してくる時期で、お子さんご自身 自分に対して戸惑うことも多く、親御さんもそれまでの接し方ではなかなかうまくいかないなど、色々な難しさが生じやすい時期でもあります。そんな困り事を、気軽に周りに話したり聴いたりしにくい現代。だからこそ、こうした相談事業を活用していただけたらと願っています。話したいことが「まともならないまま」「なんとなく」で構いません。是非、ご連絡をお待ちしております。

(思春期相談 臨床心理士)

きいて
みました

Q どんな相談ができますか？

A 思春期になって急にわからなくなったという声も多いですし、その時期に特化して相談を受けています。年齢的にはお子さんが小学校高学年くらいからになります。

例えば

不登校 / 親子のコミュニケーションが難しい / 友人関係 / 進路 / うつなどの精神的な疾患 / 異性とのつきあい / 行動の変化 / 非行 / ネット依存 等々

Q 中学生になると不登校が増えると聞きますが？

A そうですね、不登校の相談は多いです。お子さんにとっては学校がストレスになる場合もありますが、担任や養護の先生とか、なるべく家庭だけで抱えないような体制づくりをしたいと思います。学校との関わりが途絶えてしまうのも心配なので、なるべく家庭訪問してくださいとか、親から学校に連絡していただくなど、極力連絡を絶やさないでもらえるように伝えています。

Q 思春期というと子どもも精神的に複雑になりますし、親子が違う考えを持つ場合も増えてきますが、その対応は？

A 確かに、親の言う事は聞いてくれないから、子どもにも面談を受けさせたい場合があるでしょう。でも、無理に来てもらうことは難しいので、親が自分で変えられる部分、工夫できる部分について一緒に考え、やってみてどうだったかを次の面談で確認するようにしています。親が相談していると話しやすいということがあります。以前児童館に来ていた子は懐かしいと言いながら来てくれたりします。三者で会って、それから子どもだけになることもあります。

Q 他の機関との連携や紹介はどうですか？

A スクールカウンセラーのことを詳しくお知らせしたりして、学校での相談を提案することもあります。学校だと近すぎるといふ方もいて、先生とのやりとりが難しいときは、その仲介をすることもあります。親の了解があれば先生にお会いすることもあります。なるべく柔軟に対応するようにしています。

ここだけでは限界があるので、キーパーソンを探しながら相談を受けています。

小学校のPTAに呼ばれて話をしたこともあり、それで相談に来られた方もいます。

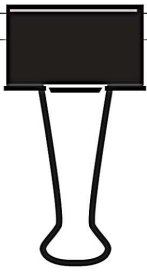
紹介ということではありませんが、他機関の情報を提供することはあります。

Q 相談日が月一回ということですが、予定を知るには？

A 市報に案内が載ります。ホームページ [小金井市東児童館](#) でも検索できます。

取材後記

東児童館の思春期相談は10年程前からやっているそうです。相談員の方は、児童相談所に関わっていたこともあり、他市のスクールカウンセラーもやっているそうです。思春期に特化した相談窓口というのはあまりないので、活用してみたらどうでしょう。場所は東児童館ですが、市内の方ならどこに住んでいても大丈夫だそうです。

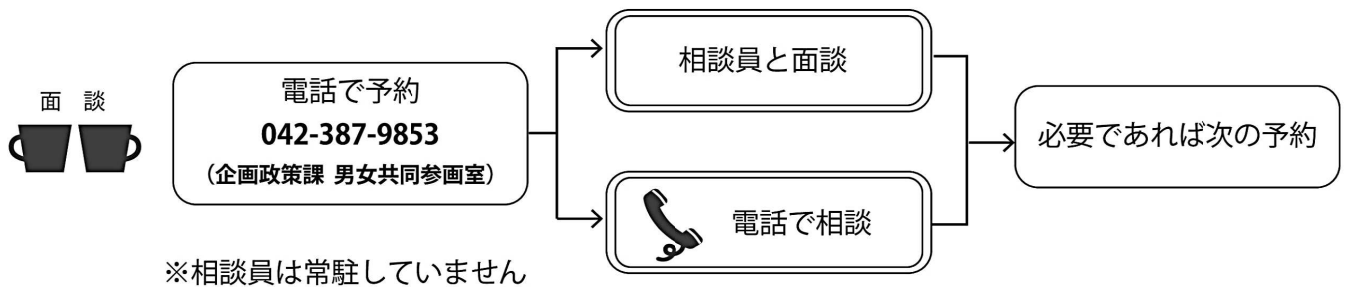


小金井市 女性総合相談

女性に特化した相談窓口です。自分のことや、夫婦関係、子どものことなど家族の悩み、職場や、近所の人間関係での悩みなどを相談できます。

【住所】	小金井市前原町3-41-15 小金井市役所第2庁舎内 1階市民相談室
【連絡先】	☎ 042-387-9853 (企画政策課 男女共同参画室)
【相談方法】	面談、電話相談 (要事前予約。予約時は匿名・仮名でも可能ですが緊急連絡先は教えてください)
【相談日】	金曜 (年47回) 13:30～16:30 (1日3コマ、1コマ1時間)
【子どもの対象年齢】	親として相談する場合は対象の子どもの年齢に制限なし 基本的に女性限定 (男性はお問い合わせください)
【相談員の資格】	臨床心理士等 (女性)
【継続相談】	可能
【親以外の相談】	可能。近所づきあいでの相談でもよい

相談の流れ



Message

女性が生活する中で直面する問題を気軽に相談でき、適切な助言と方向が見出せることを目的としています。

どのような悩みでもカウンセラーが話を聞きながら解決の方向性を一緒に考えてまいります。相談者がリラックスできるように心がけています。お悩みを話したい人はお気軽にご相談ください。どのようなことでもひとりで悩まず、困ったときにはお電話ください。(男女共同参画担当課長)

きいて
みました

Q どんな相談ができますか？

A 自分自身のこと、夫婦関係、子どもや家族の悩み、職場や、近所の人間関係など、悩んで困っているという程でなくても、話を聞いてもらいたい、ちょっとしたもやもやを聞いてほしいという感じでも大丈夫です。

気持ちの整理をしていく場です。専門の女性カウンセラーと一緒に考え、ご自分で解決方法を見出していくためのお手伝いをします。場合によっては関係機関を紹介する場合もあります。

例えば

自分の不調 / 夫婦関係、DV (夫婦間、子どもから、異性からのデートDV) / 子どもや家族の悩み 等々

Q 女性相談というと、子どもの相談が可能というふうに思わない方もいると思うのですが、子育てのことが他の問題から影響を受けたりすることもあると思います。そのあたりいかがでしょう。

A そうですね。まずはどんな内容でもいいのでお気軽にご相談ください。

Q DV (ドメスティックバイオレンス) は子どもにも影響があると聞きますが？

A そうですね。子ども自身が暴力を受けてなくても、それを見ているだけでも影響があります。安心して子育てをするためにもご相談ください。

連絡するのは勇気がいると思いますが、*東京ウィメンズプラザ等の連絡先が書いてあるDVカードがあるので、すぐ必要がなくても、手元に置いてもらっておくと思います。(市役所内トイレ等に設置)

<DVの相談先>

*東京ウィメンズプラザ 03-5467-2455

小金井警察署生活安全課 042-381-0110

東京都女性相談センター多摩支所 042-522-4232



Q 相談したいけれど、子どもの預け先がない場合は？

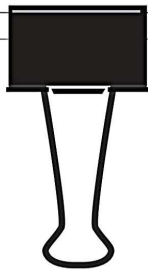
A 保育も利用できます。対象は、1歳以上～未就学児です。1ヶ月前までに申し込んでもらって、先着順となります。

Q 男性が相談できる場所はありますか？

A 男性の方で相談を希望される方はお問い合わせください。男性は都内にある専門相談機関をご紹介します。

取材後記

お話を聞いて、相談しようと思い立った時に敷居が高くなさそうだと感じました。予約は必要ですが、何を相談するかきちんと準備しなくても、ちょっとした話を聞いてほしい時にも使えます。面談だけでなく、電話でも専門家に相談できるのは心強いと思いました。また、相談者の了承があれば学校との連絡は可能だそうです。



小金井市 民生委員 児童委員・主任児童委員

暮らしのこと、困ったこと、悩みごとなど、一番身近な相談相手です。相談内容に応じ行政機関との橋わたしのほか、子育て支援、高齢者福祉、相談支援（介護や仕事など）と地域に関する幅広い活動を行っています。相談の内容の秘密は守られます。

【住所（事務局）】	小金井市役所内第2庁舎内
【連絡先】	地域の民生委員（市報 5/1 号、または市の HP 民生委員・児童委員 参照） または地域福祉課地域福祉係（☎042-387-9915）へ
【相談方法】	電話、面談
【子どもの対象年齢】	特に定めはないが、児童の場合は 18 歳まで
【相談員の資格】	特に定めなし。都が決めたと選任の要綱による。民生委員の中で主任児童委員は、特に子どもの問題を専門的に対応できる人
【継続相談】	可能。回数制限もなし。民生委員の交代も可能
【子どもだけの相談】	可能
【親以外の相談】	特に制限なし



相談の流れ

お住いの地域の民生委員さんに

直接電話

または

直接訪問

きいてみました

Q どんな相談ができますか？

A どんなことでも大丈夫です。まずは話してみても気持ちが楽になればいいなと思っています。

例えば

子どもが元気に学校に通えるようにしたい/いじめに遭っているのか心配/障がいがあるので心配 等々

Q どんな内容の相談が多いですか？

A 子どもに関する相談は当事者からというより、「子どもの泣き声が激しい家があるけれど…」など、ご近所の方が心配して連絡してくれることがあります。それとなく見守ったり、心配な場合は、確認してから関係機関に連絡します。

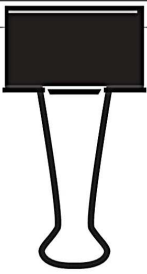
どなたが通報したかを明らかにすることはありません。子ども同士のトラブルや学校のことなどについてご相談を受けることもあります。

Q お宅に連絡していいのですか？

A はい。玄関に「民生委員」とわかる札をかけています。もし、自分の家に近くて話づらいということであれば、違う地域の民生委員に話すこともできます。

取材後記

学校、行政機関、PTA、子供会、健全育成の会などと連携し、地域のパイプ役も担っているということでした。ご近所づきあいの減っている昨今ですが、静かに地域を見守ってくれている方たちという印象をもちました。



地域福祉コーディネーター

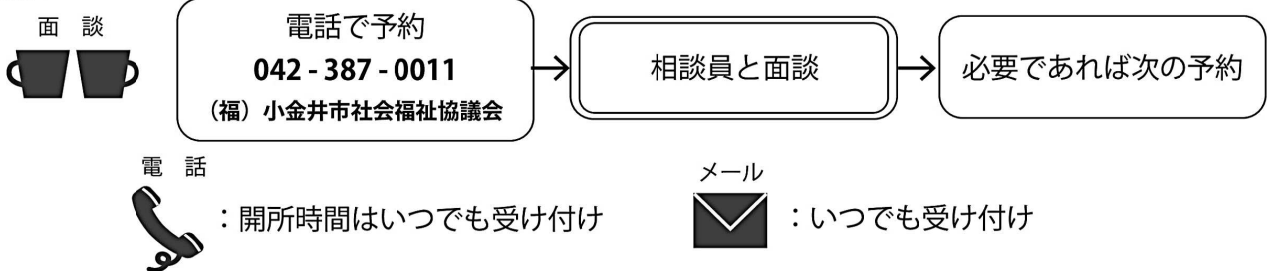
地域の悩み・困りごとを地域の皆さんと解決する「コーディネートする」役割を担った専門職の *社会福祉協議会 職員のことです。

* 民間の社会福祉活動を推進することを目的とした営利を目的としない民間組織のこと

【住所】	小金井市本町 5 - 36 - 17 (2016.7 下旬移転予定)
【連絡先】	(福) 小金井市社会福祉協議会 ☎ 042 - 387 - 0011 ✉ k-chiiki-co@ace.ocn.ne.jp
【相談方法】	面談・電話・メール
【相談日】	月曜～金曜 9:00～17:00
【子どもの対象年齢】	特に定めなし
【相談員の資格】	都が定めた研修を受けています
【継続相談】	可能。回数制限もなし。相談員の交代も可能
【子どもだけの相談】	可能。直接来てください
【親以外の相談】	特に制限なし



相談の流れ



きいてみました

Q どのような相談が多いですか？

A 小さなお子さんのいる親からの相談もありますが、福祉的な役割が主なので、子どものことだけでなく、地域生活全般のご相談を受けています。
ひきこもりの相談などもあり、20代、30代が多くなっています。他機関と協力して生活困窮世帯の相談を受けることもあり、自立のサポートで、中3の受験生に学習支援の場につなげることもあります。一人親からの相談などは、関係機関と連携します。

例えば

引きこもり / 育児困難 / 介護のこと / ご近所がごみ屋敷 等々

Q 学校との連絡を取ることはありますか？

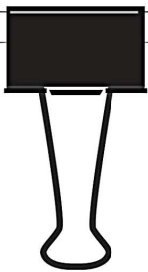
A 相談者本人から了解を得られれば直接学校に連絡することもできます。SSWとの情報交換もしています。

Q 子どもがいきなり行ってもいいのですか？

A はい、大丈夫です。緊急な場合以外は親に黙っていることもできますので、遠慮なく来てください。
また、子どもからの電話やメールでの相談も受け付けています。

取材後記

福祉という幅広い視点から見守ってくれている方たちで、もっと多くの人にその存在を知ってほしいと思いました。



学校で活躍する専門職

子ども自身の悩みや子育ての困り事も多岐にわたってきていて、最近新しく耳にする専門職があります。どんなことが相談できるのか、また役割の違いなど、小金井市教育委員会に聞きました。

【スクールカウンセラー（SC）】

困っている子どもの話を聴いて、主に心の整理をしていくのを手伝います。「友達との関係が難しい」「登校するのがつらい」「親とケンカしてしまった」など困ったことや心配なことなど何でも相談できます。相談だけでなく、自分がもやもやしていることを整理したり気持ちを落ち着けたりするのに相談室で過ごすこともできます。生徒だけでなく、保護者も相談できます。

<連絡方法> 各小中学校に相談室があり、SCが決まった日に来校します。
直通電話で予約ができます。
※SCが来校する日時、場所、連絡先などの詳細は、各学校から配られるお手紙や学校のHPなどをご覧ください。

<相談員の資格> 臨床心理士

【スクールソーシャルワーカー（SSW）】

子どもが抱える課題を福祉の視点から子どもの側に立って支援します。必要に応じて関係機関とも連携し、問題の当事者である子ども自身にとってどうすることがもっともいいことなのかを考えます。

「子どもが登校をしづっている。」「子どもがゲーム依存、スマホ依存になってしまっている。」「子どもの学校でのパニック行動が増え、家でも荒れている。」「子どもの高校進学など教育資金に不安がある」など、どうしたらいいかわからない子どもの行動についてや利用できる具体的な制度が知りたいときなども相談できます。

<連絡方法> 教育委員会指導室に直通電話があります。
電話口で「スクールソーシャルワーカーと話がしたい」とお伝えください。
受付時間 月曜日、火曜日、木曜日、金曜日 10:00～16:00
電話番号 042-387-9877

<相談員の資格> 社会福祉士
※小金井市では4人のSSWが活動しています。

【特別支援コーディネーター】

特別支援教育を推進するため、関係機関との連携・協働の強化、保護者の相談窓口、担任への支援、巡回指導や専門家チームとの連携などの役割を担っています。豊かな教職経験と指導力、障害理解があり、学校長により指名され、研修等を受けています。

<連絡方法> 市内の小中学校に配置されていますので、各学校にお尋ねください。

どの専門職も守秘義務があり、秘密をしっかり守りますので安心して相談してください

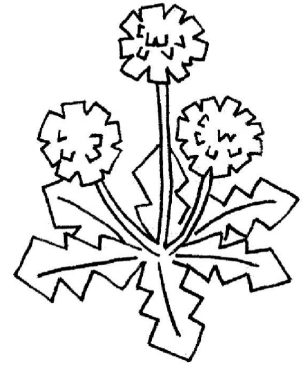
相談してみました! (体験談)

実際に相談した経験のある方に聞いてみました。

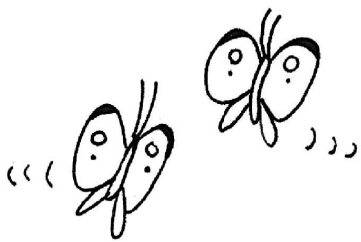
子どもが小学校2年のころから学校に行き渋りはじめました。最初担任に相談していたのですが、産休で途中交代。新しい先生にも相談しましたが、形式的なやりとりに疲れてしまいました。教育相談所に相談したところ、検査を受けてみないかと勧められ、おかげで発達にでこぼこがあることがわかりました。結局不登校になってしまいましたが、もくせい教室や通級指導学級※に通いながら、なんとか中学を卒業。高校ではチャレンジスクール***に入学できて、同じように不登校経験のある子たちと出会い、居場所をみつけられたようです。

※ 通常の学級に在籍しながら週に数回通い、その子の困難・ニーズに合わせた指導・援助を行う。

*** 都立の三部制の定時制単位制総合学科高校



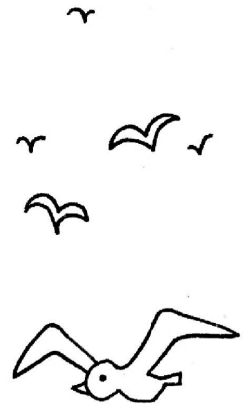
数年前、子どもが私の知らない持ち物を持っていることに気がつきました。どうしたのか聞いたら、友達にもらったというのですが、高価なものであったので心配になりました。その友達の親御さんとは知り合いではなく、学校の先生に話すのは勇気がいるので、お世話になった児童館の職員に相談してみました。もらったままにしておくわけにもいかなかったし、今後の子ども同士のおつきあいも大切なので、我が子とも再度よく話して、親子で会いにいきました。子育てって何が起こるかわかりません。でも、そのときに真剣に向き合ってくれたと思います。



小学校低学年で子どもが学校に行かなくなりました。まさか我が家にこんなことが起きるなんて想像もしていませんでした。担任やスクールカウンセラーと話し合いをしても、解決の糸口も見つからないまま途方にくれていたところ、学童保育の先生が「朝からここに来てもいいよ」と言ってくれました。本当にありがたかったです。また、たまたま巡回に来たスクールソーシャルワーカーにつないでくださり、私たち親子のために親身に話をきいてくださいました。どこか居場所がないかと探していた時にも「もくせい教室」を紹介してくれて、見学も一緒に行ってくださいました。結局その時は通えませんでした。高学年になって、今は「もくせい教室」に通っています。一度見学に行っていたので、本人も通いやすかったようです。いろいろ遠回りしましたが、今はその経験が良かったと思っています。



子育て相談というと、具体的な解決の情報を望む方が多いと聞きます。でも、普段の自分の何気ない悩みをカウンセラーにありのままに話しているうちに、問題の原因が別のところにあることに気がつき具体的な解決方法がある程度予想されてきました。また、今現在自分と家族がどんな距離にあって、それを相手がどう受け止めているかを整理するのを手伝ってもらったという感じです。利用したのは女性総合相談。周囲の音や声が聞こえてくるような所だったので、落ち着かない感じもしました。もしかしたら音に敏感な人には気になるかもしれません。

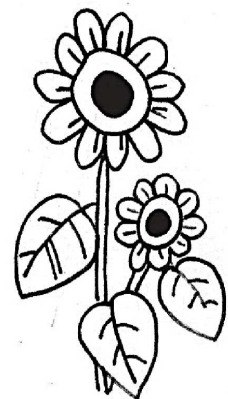


悩んでるといほどではないけれど、子どものことで少しモヤモヤしたら、幼稚園児の下の子のお迎えの時に、以前お世話になった先生に話すことがあります。幼い頃の我が子を知っている先生だから性格などわかってもらえるし、我が子の成長も感じられるので、ホッとします。



子どもが友達関係でうまくいっていないようだったので、スクールカウンセラーに相談してみました。まず私が会いに行ったのですが、話してみても良かったので、子どもにも勧めってみました。なかなかすぐには決断できなかったようですが、行ってみたら、話を聞いてもらっただけでずいぶん楽な気持ちになったようです。特に話すことがなくても、相談室が空いていれば時々お部屋に遊びに行っているようです。心が落ち着くのかもしれません。

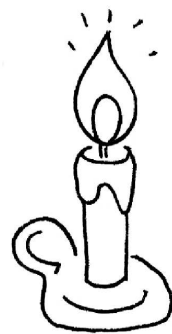
児童館をよく利用していたので、子どもの不登校が始まった時、真っ先に頭に浮かんだのは児童館で月一回実施している思春期相談でした。こんな相談場所があることは、普段意識しなければ知らない親もいるだろうし、そういう相談があることを見聞きする機会もあまりない気がします。スクールカウンセラーにも相談しましたが、嫌な思いをしたのでやめました。思春期相談は子どもが同席しなければいけないのかと思っていたのですが、親だけでも良いとのことだったので、最初は私だけで伺いました。相談員はとてもよく話を聞いてくださる方だと思いました。後日同席させた子どもはあまり合わなかったようです。親が相談に行ったところで本人に響かないこともあります。合う合わないはあると思うので、他にも相談できる場所があればいいのと思います。



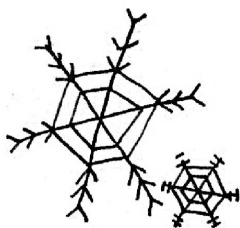


息子が小学校5年の時、毎日親子げんかが絶えませんでした。朝、登校前、帰宅後、祖母が遊びに来た時も、反抗的な態度をとっていました。夏休みになると、朝から晩までけんかの毎日でした。2学期になり、担任の先生に相談して、学校の様子などを聞くと、学校生活では特段問題はないとのことで、様子を見ましようと言われました。今、思えば中学受験を目指し、塾に通い始めたころだったので、ストレスやプレッシャーが強かったのかもしれない。結果、受験はしませんでした。それでよかったと思います。気になることがあるときは、些細なことでも相談するのが良いと思います。

中2の子がラインのグループに入りました。どうやらクラスの特定的の子をグループから外して別グループを作ったり、その子だけわからないような話題で盛り上がったり、と陰湿な嫌がらせがあるらしいです。うちの子はとりあえずそういう対象にはなっていないものの、いつ対象になるかわからない、対象になりたくないからすぐ既読して返事しなきゃ、と戦々恐々。そこで学校の「こころの相談室」へ電話してみました。生徒だけでなく保護者もお気軽に、と毎年説明されていたので、抵抗なく相談できました。他からも同様の相談があり、学校側も対策を検討しているようです。友達関係に親が顔を突っ込みすぎても、とも思っていたのですが、親の働きかけがきっかけで、今回はいい方向に向かいそうです。



今年中学生になった子ども。4月中は、友達、部活、毎日着る制服、と初めてづくしで張り切って通っていましたが、5月の連休明け辺りから、朝になると、お腹が痛い、体がだるい、と言うように。充分食べて寝ているし、学校に行ってしまうと特に変った様子もなく過ごしているようなのです。朝以外はいたって元気なので、不思議です。でも、今朝も「お腹、痛い」と。実際、顔色も青白く、具合悪そう。しばらくソファで横になり、お友達が迎えに来ると、だるそうに「行ってきます」。本人にも自覚のないストレスとか、実は何か困難を抱えているのか、色々心配になっています。小学校のように気軽に先生に聞けない気がして…。そこで習い事の先生に相談してみました。小さい時から10年以上も見ていただいているので、信頼して包み隠さずお話しできるのがありがたいです。習い事では普段どおり元気らしく、ひとまず安心しました。誰かに聞いてもらうだけでも気が楽になり、すぐに解決に結びつかなくても、話してみるっていいですね。



相談の極意！

- 一、困ったときは頼ればいい
- 一、相談内容がはっきりしていたら、事前に簡単なメモを作るべし
- 一、モヤモヤしているだけで、話せるかどうか不安でも全く問題なし。相手は専門家。話しているうちに整理されていくもの
- 一、何事も相性がある。一か所行ってしっくりこなくても、めげないで他にも試してみよう
- 一、相談機関は、基本的に守秘義務を負っている。学校や外部との連携を希望するときは、はっきり伝えるべし
- 一、一度相談したらスッキリ解決…ということはないけれど、「相談する」を身に着けるのはあなたの日々を楽にする



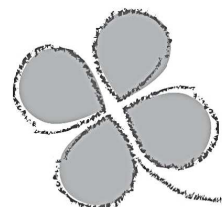
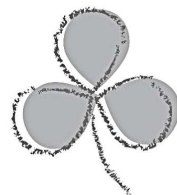
ところで・・・

相談しようかどうしようかと悩む理由のひとつに

「みんなと違う」ということはありませんか？

だけど、違いがあるのはいけないこと？

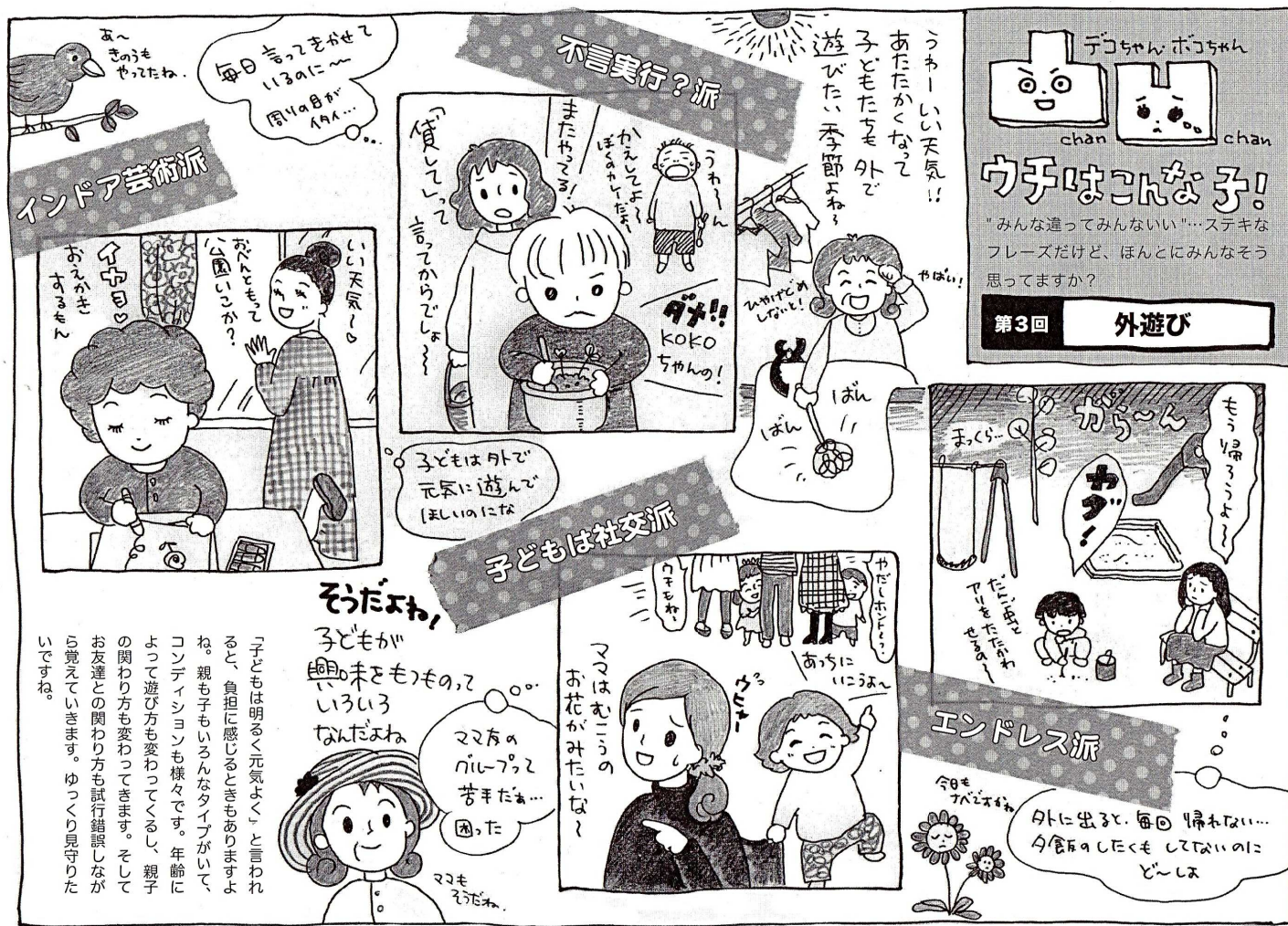
それって、個性があるということじゃないの？



私たち「KOKOぷらねっと」は、これまでも「個性」について考えてきました。

凸ちゃん凹ちゃん「ウチはこんな子」

KOKOぷれすVOL.34より



凸ちゃん凹ちゃんの第1回~3回は、KOKOぷらねっとのHPにも掲載しています

困ったなとか心配だなと思う行動も、見方によっては個性的で素敵なことに思えます。

成長した子どもたちは学校ではどんなふうにごろごろしているでしょう...



私は私・僕は僕

休み時間の過ごし方

外でハッスル!



今頃 休み時間から...
ウチの子 何して
あそぶのかなん

インドア芸術家

今日は王国の
続きを
かくだ!!



空想大好き

雲がソフト
クリームみたいで
おいそう
だなあ〜...



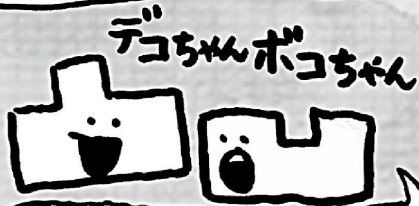
おしゃべり ノンストップ!



“ひとりでポツンとしていると心配”と思うことはありませんか?

でも、いつも集団で過ごしているからこそ一人になる時間がほしい子どももいますし、ひとりで過ごすのが好きな子どももいるでしょう。大人だってそうですよね。





私は私・僕は僕

学芸会の役割分担

今日は学芸会の
役決めて
言ったよね...



何の役に
なるかな...

ゆっくり考えたい

ぐ〜...
やりたいんだけど
うまくやれないかも
だけど
やりたいかも...

もう立候補
いないですか



少し
ういた手

裏方がカッコいい!

むしろ舞台裏の方が
カッコイイと思うん
ですけど?!?

ええっ?!

koko君は
あんまり
やる気が
ないのかな?



主役はまかせて!

ハイッ!!



私
やりたい
です!!

無理せずやりたい

村人Bが
いい人〜

ハ〜イ

オレ
やりたい
です



お母さんは残念
かもしれないけど
目立つのイヤなん
だよな

学校では、学芸会や運動会、
いろいろな行事があります。
親としては、目立つ役をやっ
てくれたら嬉しいかもしれま
せん。けれど、子ども一人ひ
とりの興味対象は違うはずで
す。「そんな消極的でどう
するの!」なんて言わ
ないで、いろいろな役
割を認めてあげたい
ですね。

バッチリ
してるわよ〜





私は私・僕は僕

しかられた時

とりあえず
ソッコー謝る!

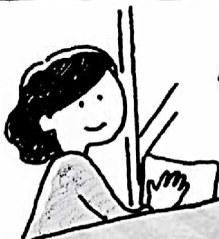
ハイハイ!
ごめんなさい!!

あっ!
ちよと
まだです!



あやまったから
イイよねー

さて...



今日はどんな顔で
帰ってくるかな...

こっちも言い分あり!

キッ

コラ!!
閉ってる

オレは悪くない!!
あいつが先に
やってきたのに!



心ここにあらず

あー
センセーの
まゆ毛
太いなー

なんで先生が
話をしてるのか
わかりますか

KOKOさんが
あのあ



今日は何の
アニメやるっけー

感度・よし

ドキ

ガミ
ガミ



〇〇くん怒られ
てる...
私のことじゃないけど
イヤだな...

しかられた時でも、一人ひとり受け止め方が違います。ということは、心の中にわいてくる感情も違うはずですよ。それも個性の一つだと思います。それぞれの感じ方を尊重し、じっくり話を聞くことを意識したいですね。



歓迎されやすい個性もありますが、マイナスに感じられたりその場の価値観に合わない個性だと否定されたりすることがあるように感じます。確かに学校生活ではみんなと同じようにしなければいけないことが多くなります。そして、成績がついたり順番がついたり、比較したりする場面は増えるかもしれません。

でも、一人ひとりの興味関心や感じ方などが最初から否定されることがないといいなと思います。まずは「この子はこういう子だよ」「それもありだよ」とおとなが認めたら、その子自身も「自分はこうだよ」と自分を認められるのではないのでしょうか。

その先は、話し合い、成長を見守りたいですね。



一方、違いがあることはわかっているけれど、なんだか気になってしまう、みんなと同じようにできないことで困難を感じてしまうということもあります。

そういう時は専門家の助けを借りてしまいましょう！

でも、それは評価するためではなく、安心するため、よりよい対応の仕方を知るため、困難を減らすためだと思います。

その子のもっている個性は尊重されるべきですよ。



生まれた時から誰一人同じ人はいない、そんな事実をみんなで思い出したいですね。

「どんな個性をもっている、どの子も安心して生きていける社会でありますように！」

私たちはそう願っています。



どの子も大切な存在です

編集後記

私たちは、昨今の子どもを巡る悲しい出来事や、メンバー自身が自分の子育てで経験したことをきっかけに、市内の小中学生のいるご家庭を対象にした「相談」について特集することにしました。乳幼児のいる方対象の「お母さんのつぶやき集」でも伝えた“悩んでいるのは私だけ?”かなという思いは、子どもが小中学生になっても変わらず、自問自答してしまうことが多いと思います。でも、決してそうではありません。まずは一步を踏み出してもらいたい、そうすればきっと何かが見えてくるのではないかと考えています。

各相談先から個々に情報は出ていますが、それらが一冊にまとまっていると、利用しやすいのではと考えました。取材してみると、相談を受ける窓口もそれぞれ特長があり、わかりやすく表現するのに苦労しました。子育てや仕事をしながらの作業でしたが、生の声を取り入れながら一冊に情報を集約できたのはとても意味のあることだと思っています。この冊子が、読者の皆さまのお役に立つことを心から願っています。

最後になりますが、お忙しい中取材にご協力いただいた相談窓口の皆さま、本冊子のためにメッセージをお寄せいただいた東京学芸大学の馬場幸子先生、ご自分の経験や思いを聞かせていただいたり、「みんなの学校」小金井上映会でアンケートにご協力いただいた皆さまに深く感謝申し上げます。

「子育て相談特集・小中学生編」制作委員会は、非営利活動団体「K O K O ぷらねっと」のメンバーを中心に結成しました。「K O K O ぷらねっと」は、2003 年から東京都小金井市を中心に活動し、子育て不安への共感や子どもの権利を大切に、0～18歳の子どもと親を対象にした当事者目線の子育て・子育て情報を発信しています。メンバーの子どもの年齢は、乳幼児から社会人と幅広く、孫がいるメンバーもいます。

★これまでの発行物…こがねい子育て・生活情報紙「K O K O ぷれす」

「幼稚園ガイドKOGANEIエリア版」「お母さんのつぶやき集～悩んでいるのは私だけ?～」

「K O K O おでかけガイド」等

★実施した交流会…「K O K O さろん」「教師をめざす学生と保護者の交流会」等

※ 活動の詳細は、HP <http://kokop5.jimdo.com/> をご覧ください

●企画制作

「子育て相談特集・小中学生編」制作委員会

塚田昭子 / 福島真理 / 阿部寛子 / 安部富代 /

山崎美奈子 / 千葉恵 / 佐藤美紀 / 下津彩子

●表紙デザイン/イラスト のがわみき

●レイアウトデザイン 酒井美帆

●イラスト 下津彩子



発行元

K O K O ぷらねっと

mail:kokop510@yahoo.co.jp

K O K O ぷらねっとHP <http://kokop5.jimdo.com/>

K O K O のブログ <http://ameblo.jp/kokoplanet/>

ご支援いただける方は 郵便振替口座 00100-2-370224 名義 K O K O ぷらねっと

K O K O ぷれす
PRESS vol.38

KOGANEI

子育て相談特集 小中学生編



発行日 2016年6月30日

※禁無断転載コピー © K O K O ぷらねっと

本冊子は一部、小金井市社会教育関係団体補助制度より助成を受けて発行しています

いこいこ
ぷらねっ